

NEC プロジェクター

ViewLight[®]

ビューライト

NP-UM352WJL

APPSメニュー説明書

目次

1. APPS メニューでできること	2
2. ビューワ	7
3. ホワイトボード	11
4. コラボレーション	14
5. リモートデスクトップ接続	18
6. MultiPresenter	24
7. Miracast	25
8. WEB サーバ機能	26
8-1. WEB シェアリング	27
8-2. MultiPresenter	31
8-3. PROJECTOR CONTROL	34
9. ネットワーク設定	35
9-1. プロジェクター名	35
9-2. ネットワーク情報	35
9-3. 有線 LAN	35
9-4. 無線 LAN	36
9-5. MultiPresenter	43
9-6. ネットワークサービス	44
10. ツール	46
10-1. ペン設定	46
10-2. マウス設定	51
10-3. プログラムタイマー	51
10-4. 日付と時刻	54
10-5. 管理者モード	55
10-6. デフォルト APP	55



● 本書の説明は、プロジェクター本体のファームウェア 2 のバージョン「1.07」以降に対応しています。ファームウェア 2 のバージョンは、オンスクリーンメニューの「情報」→「VERSION(2)」の「FIRMWARE2」に表示されます。

1. APPS メニューでできること

APPS メニューでは、本機の拡張機能や各種設定を選択することができます。APPS メニューを表示するには、リモコンの (APPS) ボタンを押すか、オンスクリーンメニューの入力端子で「APPS」を選択します。電子ペンのキャリブレーションを行うと、APPS メニューの各機能や設定画面を電子ペンを使って操作できます。

参考

- APPS メニューの各アプリケーション使用中は、オンスクリーンメニューを表示していない状態で、リモコンの (APPS) ボタンを押すことにより、アプリケーションを中断し APPS メニューに戻ります。

【APPS メニュー画面】

フォーカス

選択されている項目を表します。黄色い縁どりで表示されます。

現在の日付と時刻



APPS メニューの機能を使用する前に、日付と時刻を設定してください。(P.54 ページ)



注意

- 本機がネットワークに接続していないとき、「リモートデスクトップ接続」、「MultiPresenter」、「Miracast」、「WEB シェアリング」は選択できません。
- 「ホワイトボード」と「コラボレーション」は同時に使用できません。「ホワイトボード」を使用するときは「コラボレーション」を「中断」ではなく「終了」してください。同様に「コラボレーション」を使用するときは「ホワイトボード」を「終了」してください。

ビューワ

保存している画像や動画を選択して本機から投写します。次の3つを使用できます。

- (1) プロジェクターメモリ… 本機の内蔵メモリに一時保存した画面イメージ（本書では「キャプチャ画像」と呼びます）。
- (2) USB メモリ …………… 本機に接続している USB メモリ内の画像や動画。
- (3) 共有フォルダ…………… 本機が接続しているネットワーク上の共有フォルダ内の画像や動画。

ホワイトボード

本機に添付している電子ペンを使った描画が行えます。ホワイトボードを起動する前に、ツールの「ペン設定」を行ってください。

コラボレーション

ホワイトボードで描画した画面を、ネットワークで接続しているコンピュータと共有できます。

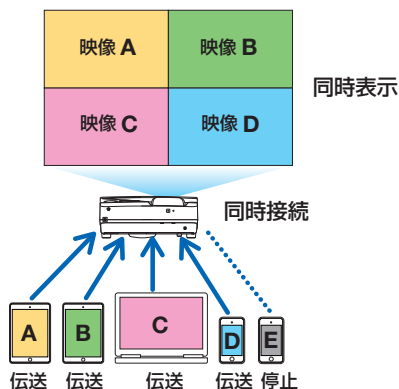
リモートデスクトップ接続

プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。

市販の USB キーボードを本機に接続することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7 のコンピュータを操作できます。

MultiPresenter

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、OS X、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。
- 複数（最大 50 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4×4 分割）して一度に投写することができます。



- コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。

または、MultiPresenter を当社のホームページからダウンロードして、コンピュータやスマートフォンへインストールしてください。

<http://www.nec-display.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>

Miracast

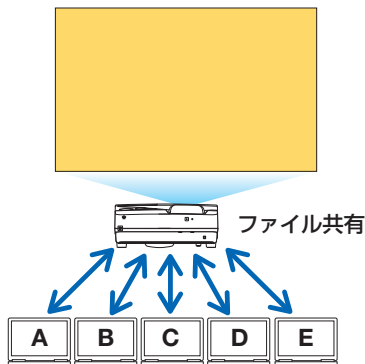
Android 端末などの Miracast 規格に対応したデータ送信端末と本機をワイヤレスで接続し、端末から送信される画像を本機で投写することができます。

接続する前に本機のネットワーク設定で「Miracast」を設定してください。

WEB サーバ機能

● WEB シェアリング

専用のファイル共有ソフトウェアを使用することなく、プロジェクター（本機）とネットワークで接続しているコンピュータ同士で、ウェブブラウザを使用して本機の WEB サーバにアクセスすることによって、画面やファイルを共有することができます。



● MultiPresenter

Image Express Utility Lite や MultiPresenter アプリケーションを使ってプロジェクター（本機）に同時表示した複数の端末の画面について、コンピュータのウェブブラウザから画面の分割数や表示位置などを変更することができます。

● プロジェクターコントロール

コンピュータのウェブブラウザ画面からプロジェクター（本機）を制御することができます。

● WEB サーバへのアクセス方法

プロジェクター（本機）とコンピュータをネットワークで接続し、コンピュータのウェブブラウザで次の URL にアクセスしてください。

URL: <http://> (プロジェクター（本機）の IP アドレス)

● リモートペン

APPS メニューの左下の「リモートペン」にフォーカスを合わせ(決定)ボタンを押すと、リモートペン機能のオンとオフを切り替えます。

詳しくは [46 ページ](#) をご覧ください。

<オフ状態アイコン>



<オン状態アイコン>



ネットワーク設定

本機を有線 LAN、無線 LAN に接続するための以下の設定を行います。

● プロジェクター名

本機のプロジェクター名とホスト名を設定します。工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。

● ネットワーク情報

本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続したときの情報を表示します。

● 有線 LAN

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

● 無線 LAN

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。

また、簡易アクセスポイント、Wi-Fi Direct、Miracast の設定を行います。

● MultiPresenter

MultiPresenter の動作モード（フリー、管理）を設定します。

● ネットワークサービス

AMX、HTTP サーバ、PJLink、アラートメール、CRESTRON のための設定を行います。

ツール

以下のペン設定、マウス設定、プログラムタイマー、日付と時刻設定、管理者モード、デフォルト APP が行えます。

● ペン設定

電子ペンをはじめて使用するときやプロジェクターの設置場所を変更したときは、電子ペンの位置を正しく認識させるために、必ずキャリブレーションを行ってください。

[\(🔗 46 ページ\)](#)

● マウス設定

市販の USB マウスを本機に接続すると、マウスを使用して APPS メニューの操作ができます。

このときのマウスの設定です。

● プログラムタイマー

曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン / スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。

●日付と時刻設定

本機に現在の日付と時刻を設定します。

●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

●デフォルト APP

プロジェクターの電源を入れたときに「APPS」端子が選択されていると、デフォルト APP で設定した機能が自動的に起動します。

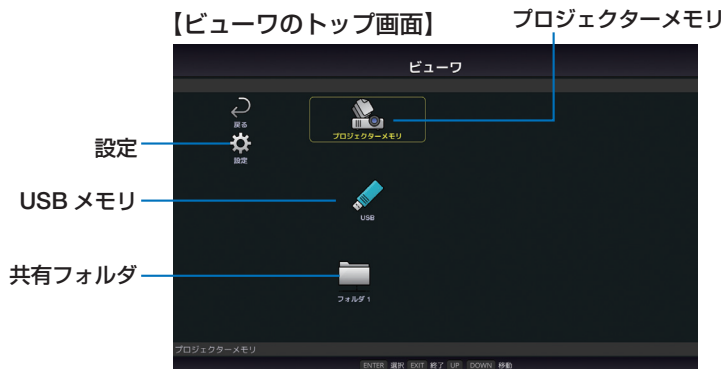
また、「APPS」端子以外が選択されていると、「APPS」端子に切り替えたときにデフォルト APP で選択した機能が自動的に起動します。

2. ビューワ

ビューワでできること

保存している画像や動画を選択して本機から投写します。次の3つを使用できます。

- (1) プロジェクターメモリ… 本機の内蔵メモリに一時保存した画面イメージ（本書では「キャプチャ画像」と呼びます）。
- (2) USB メモリ……………本機に接続している USB メモリ内の画像や動画。
- (3) 共有フォルダ…………… 本機が接続しているネットワーク上の共有フォルダ内の画像や動画。



- プロジェクターメモリへのキャプチャ画像の保存方法は、プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。プロジェクターメモリは一時的な保存場所です。プロジェクターの電源を切るとメモリ内の画像は消えます。
- 「設定」を選択すると、スライドショー、動画、共有フォルダなどの設定を変更することができます。(10 ページ)
- 「設定」で「自動再生」を「静止画」または「動画」に設定しているとき、次の操作で自動再生が実行されます。
 - ・ ビューワのトップ画面で USB メモリを本機に接続したとき。
 - ・ 本機に USB メモリが接続されている状態で、電源を入れたあと、はじめてビューワ画面を表示したとき。このとき、自動的に USB メモリ内のルートディレクトリと次の階層のフォルダ内を検索し、見つかった画像または動画を順番に表示します。画像や動画の表示順は、ファイル表示画面で「並び順」を行った順になります。

注意

- ビューワで認識できる USB メモリは 1 つのみです。本機の無線 LAN 用の USB ポートに USB メモリを接続しないでください。
- 共有フォルダは 1～4 つまで設定できます。
- 共有フォルダへの接続が失敗すると、エラーメッセージを表示して、フォルダアイコンに「×」印を表示します。その場合は次の確認を行ってください。
 - ・ LAN ケーブルが正しく接続されているか
 - ・ 接続先のフォルダ名は正しいか
 - ・ 接続先のフォルダが共有設定されているか
 - ・ 接続先のフォルダにアクセス権が設定されているか
 - ・ 接続先のフォルダに表示可能なファイルが保存されているか
 - ・ プロジェクターの日時設定が正しく行われているか

表示／再生可能なファイル

● 静止画

・対応フォーマット

拡張子	対応
*.gif	インターレース、透過、アニメーション
.jpg/ .jpe/* .jpeg	ベースライン、プログレッシブ、RGB、CMYK
*.png	インターレース、 α チャンネル
*.bmp	

※ ビューワでは、MS-Office ファイルや PDF は表示できません。

・対応画像解像度

フォーマット	解像度
JPEG	5000×5000 ピクセルまで
Gif	1280×1280 まで／ファイルサイズが 5 メガバイトまで
その他の画像 (.png、.bmp)	4000×4000 ピクセルまで

● 動画

・対応フォーマット

拡張子	動画コーデック	音声コーデック
.mpg/ .mpeg	MPEG2	MPEG Audio Layer2 MPEG Audio Layer3 (略称 MP2/MP3)
*.wmv	WMV9	WMA 9 Standard (略称 WMA9)
*.mp4	H.264/AVC	AAC-LC (略称 AAC)

・詳細情報

項目	条件
解像度	320×240 ～ 1920×1080 まで
動画フレームレート	30FPS まで
動画ビットレート	30Mbps まで
音声チャンネル	2ch ステレオまで
音声サンプルレート	48KHz まで
音声ビットレート	MP2/MP3 448kbps まで WMA9 384Kbps まで ACC 256Kbps まで
ファイルの最大サイズ	2 ギガバイトまで
サポート外のコーデック	WMA Professional 形式の音声データが含まれた WMV ファイルは再生できません。

注意

- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。
- ネットワーク環境または USB メモリの種類、ファイルのビットレートによっては正常に動画が再生されないことがあります。
- デジタル著作権管理 (Digital Right Management, DRM) 付きのファイルは再生できません。
- 動画ファイルに設定されたアスペクト比は反映されません。動画のピクセルアスペクト比は 1:1 になります。

●対応 USB メモリ

本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリを認識できません。本機にセッ
トした USB メモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
ビューワで使用する USB メモリは、FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットし
てください。フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書または
ヘルプファイルを参照してください。

注意

- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリの動作を保証するもの
ではありません。

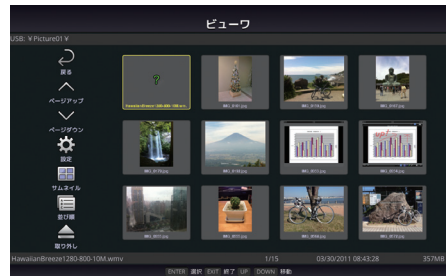
ファイル表示画面









- 1 画面には、フォルダアイコンを含め、12 個（横 4× 縦 3）のファイルを表示で
きます。画面左の「ページアップ」および「ページダウン」でファイルの一覧を切り
換ええます。
- ビューワのファイル表示形式には、アイコン表示とサムネイル表示があります。

【アイコン表示】



【サムネイル表示】



 戻る	1 つ上の階層に戻ります。
 ページアップ	前のファイルの一覧を表示します。
 ページダウン	次のファイルの一覧を表示します。
 設定	設定画面を表示します。
 サムネイル／アイコン	サムネイル表示とアイコン表示を切り換えます。
 並び順	名前（ファイル名）、種類（拡張子）、日付（作成日時）、サイズ（ファイル容量）の順にファイルの表示順を切り換えます。初期値は「名前」順です。
 全削除	プロジェクターメモリのファイルの一覧を表示しているときにのみ、メモリ内のファイルの「全消去」を行うことができます。「全削除」を実行すると、消去したファイルはもとに戻せませんので注意してください。
 取り出し	USB メモリのファイル一覧を表示しているときに、USB メモリの「取り外し」を行います。

注意

- 1 つのフォルダ内は、フォルダアイコンを含め、最大 300 個まで表示できます。
- ファイル名の先頭に「.」が付いているファイル名は表示されません。
- 種類が判別できないファイルのアイコンは「？」と表示されます。
- 時間が短い動画ファイルのサムネイルは黒く表示される場合があります。

スライドショー表示

- ファイル表示画面（アイコン表示またはサムネイル表示）で静止画にフォーカスを合わせ(決定)ボタンを押すと、スライド画面に切り替わります。
- スライドショー表示には、リモコンのボタン操作で画像を切り換える「手動再生」と、設定した時間の間隔で自動的に画像を切り換える「自動再生」（再生モードが「自動」）が行えます。
- 本機の工場出荷時は「手動再生」が設定されています。「自動再生」を行う場合は、「設定」で「再生モード」を「自動」に設定してください。(このページ)
- 画像の表示順は、ファイル表示画面で「並び順」を行った順になります。

動画の再生

ファイル表示画面（アイコン表示またはサムネイル表示）で動画ファイルにフォーカスを合わせ(決定)ボタンを押すと、動画の再生を開始します。

ビューワ設定

ビューワのトップ画面やファイル一覧画面の  アイコンを選択すると、ビューワの設定画面を表示します。

設定画面では次の設定ができます。

項目 1	項目 2	選択肢 ([] は初期値)	備考
スライドショー	スクリーンサイズ	[最大サイズ] / 実サイズ	
	再生モード	自動 / [手動]	
	間隔	[5] ~ 300 秒	「自動」選択時に有効
	繰り返し	[無効] / 有効 (初期値はチェックなし)	
動画設定	スクリーンサイズ	[最大サイズ] / 実サイズ	
	繰り返し	[オフ] / 1つのファイル / 全てのファイル	
自動再生	自動再生	[オフ] / 静止画 / 動画	USB メモリを接続したときにのみ有効
共有フォルダ	フォルダ 1 / フォルダ 2 / フォルダ 3 / フォルダ 4	[無効] / 有効 (初期値はチェックなし)	
		共有フォルダ [¥¥]	41 文字まで
		ユーザー名	64 文字まで
		パスワード	64 文字まで

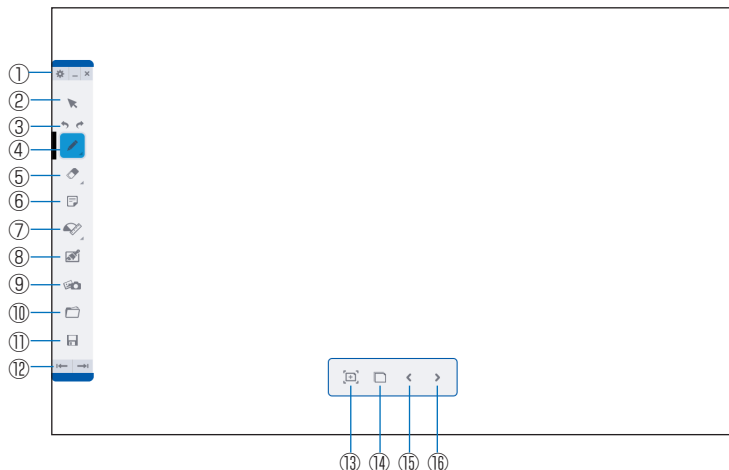
3. ホワイトボード

ホワイトボードソフト DisplayNote を起動し、本機に添付している電子ペンを使って描画が行えます。

ホワイトボードを起動する前に、ツールの「ペン設定」を行ってください。

(🔗 46 ページ)

● ホワイトボード画面



番号	名称	説明
①	設定 (⚙)	ホワイトボードおよびコラボレーションのバージョン情報を表示します。
	最小化 (-)	DisplayNote を終了せずに APPS メニューに戻ります。
	終了 (×)	DisplayNote を終了します。
②	カーソル	描いた文字や図形をドラッグして、任意の場所へ移動します。
	もとに戻す (↶)	ひとつ前の描画状態に戻します。
③	やり直す (↷)	"もとに戻す" を実行する前の状態に戻します。
	ペンツール	文字や図形を描くツールを選択します。 「MULTI USER MODE」を選択すると、同時に 2 本の電子ペンを使って描画することができます。(🔗 13 ページ)
④	消しゴムツール	描いた文字や図形を消すツールを選択します。
⑥	付箋 (ノート)	本機の USB-A ポートに USB キーボードを接続すると、付箋ウィンドウを表示して文字を入力し、付箋アイコンとしてホワイトボード画面に貼ることができます。ただし日本語は入力できません。 注意 ● 本機に接続したキーボードは 101 配列として文字が入力されます。106 や 109 キーボードを接続しても 101 配列になります。
⑦	文房具ツール	定規、分度器、コンパスなど描画補助ツールを選択します。
⑧	背景	ホワイトボードの背景を選択します。初期状態は "ホワイト" です。

⑨	メディアツール	プロジェクターメモリに保存した画面イメージや、プロジェクターに接続した USB メモリ内の JPEG ファイル、または PNG ファイルを開きます。 最大解像度は、JPEG:4000x4000、PNG:3000x3000 です。
⑩	保存データを開く	保存したレッスンファイル (拡張子 .dn : DisplayNote 専用ファイル) または PDF を開きます。 注意 <ul style="list-style-type: none"> ● PDF によっては表示できないものがあります。 ● PDF に埋め込まれていないフォントは表示できません。 ● PDF を開いたときフォントが重なって表示される場合は、PDF のフォントを変更してみてください。 ● PDF で開けるページ数は最大 10 ページまでです。
⑪	画面データ保存	描画中の画面をレッスンファイル (拡張子 .dn) として保存します。 重要 重要なデータは USB メモリに保存することをおすすめします。
⑫	ツールバーの表示位置切り替え	ツールバーをプロジェクターの画面の左端または右端に移動します。
⑬	スライド追加	現在表示しているスライド (画面) のコピーを作成して、スライドを追加します。
⑭	コンテンツ	スライド一覧を表示します。 “ゴミ箱” アイコンを選択すると、そのスライド (画面) を削除します。
⑮	前のスライドへ切り替え	ひとつ前のスライドに移動します。
⑯	次のスライドへ切り替え	次のスライドへ移動します。現在のスライドが最後の場合、ブランクのスライドを作成して移動します。スライドの最大枚数は 10 枚です。

注意

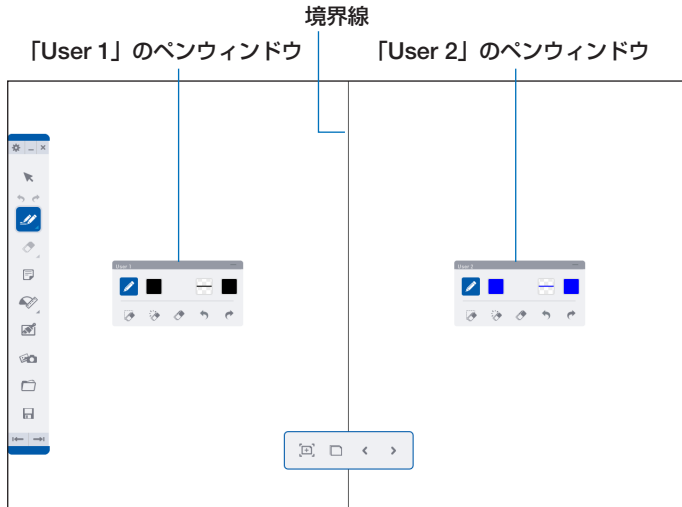
- 電子ペンを使って描画できない場合は、「④ペンツール」が選択されているかを確認してください。
- 電子ペンで引いた線が途切れる場合は、電子ペンの充電が切れかかっています。添付の USB ケーブル (電子ペン充電用) を使用して電子ペンを充電してください。
- スライド上に描画した文字や貼り付けた画像が増えてくると、動作が遅くなる場合があります。その場合は、重要なデータを USB メモリに保存して、一旦ホワイトボードを終了し、再度ホワイトボードを起動しなおしてください。
- USB メモリにレッスンファイルを保存したときは、プロジェクターの電源を切るまで USB メモリを抜かないでください。
- ホワイトボードの機能はリモコンでは操作できません。電子ペンまたはマウスを使って操作してください。

●マルチユーザーモード画面

ホワイトボード画面でペンツールウィンドウを開いて「MULTI USER MODE」を選択すると、同時に2本のペンを使い分けて描画することができます。

マルチユーザーモードに切り替わると、ホワイトボード画面の中央付近に境界線が表示され、境界線の左右に「User 1」と「User 2」のペンウィンドウが表示されます。ペンウィンドウは、ペンを使ってドラッグすることができます。このとき、ペンウィンドウの位置に応じて、境界線の位置や角度が変わります。

マルチユーザーモードを終了する場合は、ペンツールウィンドウを開いて「MULTIUSER MODE」を選択してください。



注意

- マルチユーザーモード時は、マウスを使って文字や図形を描くことはできません。電子ペンを使用してください。
- 2本のペンを同時に使用した際に、各々のペンで描画した線が繋がってしまうなど意図しない動作をする場合があります。その場合は、2本のペンの距離を離すか、1本のペンの描画または操作が終わってから、もう1本のペンの描画または操作を行ってください。

4. コラボレーション

アプリケーションソフト DisplayNote (NEC Edition) (以降、DisplayNote と記載します。) をインストールしたコンピュータやタブレット端末をプロジェクター (本機) にネットワークで接続することにより、ホワイトボードで描画したスライド (画面) を共有することができます。

または、プロジェクター (本機) を参加者として、コンピュータやタブレット端末で動作中の DisplayNote に接続してファイルを共有することができます。

DisplayNote は、当社のホームページからダウンロードしてください。

ツールバーの機能については「3. ホワイトボード」をご覧ください。

コラボレーションで同時に接続できるのは 5 台までです。

●起動画面



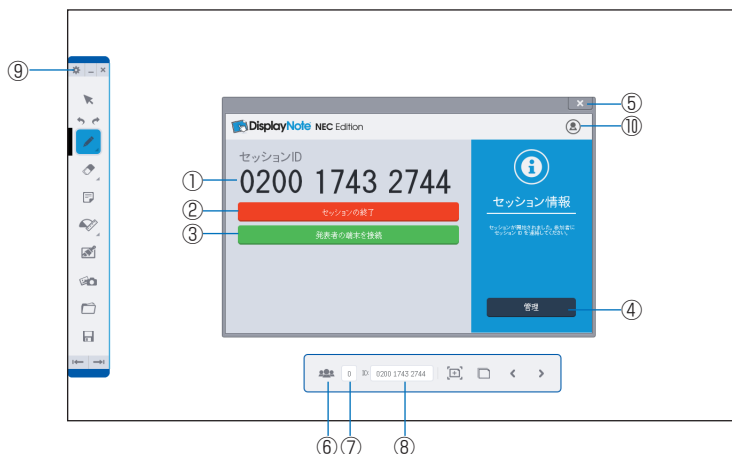
番号	説明	
①	プレゼンテーション	プレゼンテーション (セッション) の主催者になる場合に選択します。 次ページの主催者画面が表示されます。
②	参加	プレゼンテーション (セッション) の参加者になる場合に選択します。 17 ページの参加画面が表示されます。
③	終了	コラボレーションを終了します。

注意

- プレゼンテーション (セッション) に参加する場合、DisplayNote NEC Edition にログインする場合、および設定画面でプロキシサーバのアドレスなどを設定する場合は、本機に USB キーボードを接続する必要があります。
本機に接続したキーボードは 101 配列として文字が入力されます。106 や 109 キーボードを接続しても 101 配列になります。

●主催者画面

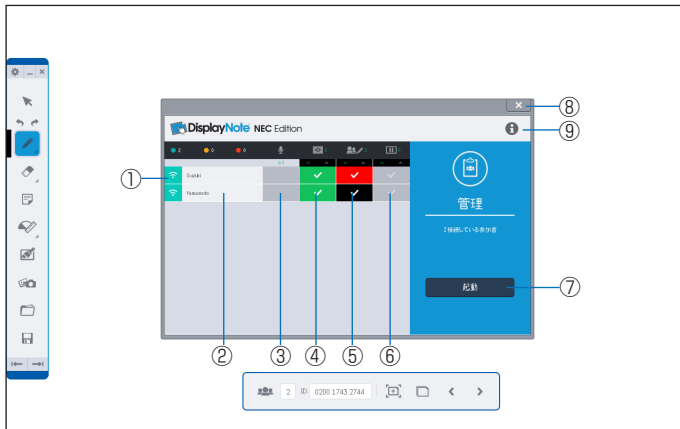
プレゼンテーション（セッション）主催者画面には、セッション ID が表示されます。主催者画面を表示するたびに変わります。



番号	説明	
①	セッション ID	コンピュータやタブレット端末の DisplayNote からセッションに参加する場合、この番号を入力します。
②	セッションの終了	セッションを終了します。
③	発表者の端末を接続	セッション ID を表す QR コードを表示します。 参加者がカメラ付きのタブレット端末を使用している場合、QR コードを読み取ることでセッションに参加できます。 QR コードに対応した DisplayNote を使用してください。
④	管理	現在開いているセッションの参加状況やコラボレーションのオン/オフの設定を管理する画面を表示します。
⑤	ウィンドウを閉じる	セッション ID を表示しているウィンドウを閉じます。
⑥	管理	現在開いているセッションの参加状況やコラボレーションのオン/オフの設定を管理する画面を表示します。
⑦	セッションへの参加者数	セッションに参加している端末の数を表示します。
⑧	セッション ID	コンピュータやタブレット端末の DisplayNote からセッションに参加する場合、この番号を入力します。
⑨	設定	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードおよびコラボレーションのバージョン情報を表示します。 本機を接続しているネットワークのプロキシサーバのアドレスを設定します。 プロキシサーバについて詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。 「クラウドサービスを使用」のチェックボックスは、クラウド接続が有効な DisplayNote のアカウントをお持ちいただいているお客様用の設定です。クラウド接続の有効期限はライセンスキー登録後、“1年間”です。 次の⑩ログインを行い、「クラウドサービスを使用」にチェックマークを付けると、DisplayNote 社のクラウドサービスを利用して遠隔地とセッションを行うことができます。

⑩	ログイン	<p>本機を使って DisplayNote アカウントにログインするための画面を表示します。</p> <p>DisplayNote の主催者としてログインするためには、事前に DisplayNote 社のホームページでアカウントを登録しておく必要があります。</p> <p>詳しくは、当社のホームページをご覧ください。 URL: http://jpn.nec.com/products/ds/solution/displaynote/</p>
---	------	--

●管理画面



番号	説明	
①	接続状態	セッションへの接続状況をアイコンの色で表します。 ・ 緑：参加中。 ・ オレンジ：セッションを終了せずに、通信が切れている状態。 ・ 赤：セッションを終了せずに、通信が切れてから約 30 秒経過している状態。
②	参加者の名前	参加者の名前を表示します。最大 5 つまで接続できます。
③		本機では使用できません。
④	参加者の画面表示のオン／オフ	オンに設定した参加者の画面が⑦起動をタッチしたときにスクリーンに表示されます。
⑤	コラボレーションのオン／オフ	オンに設定すると、発表者と参加者全員が同じスライドを共有することができます。 チェック欄の色は、参加者のペンの色を表しています。
⑥	コラボレーション一時停止のオン／オフ	一時停止をオンにすると、その参加者はスライドを一時的に共有できない状態になります。
⑦	起動（参加者の画面表示）	④でオンに設定した参加者の画面が表示されます。複数の参加者を選択した場合は画面を分割して同時に表示します。
⑧	閉じる	管理画面を閉じます。
⑨	情報	セッション情報画面を表示します。

●参加画面



番号	説明
①	氏名を入力します。
②	セッション ID を入力します。
③	①、②を入力後に選択します。
④	起動画面に戻ります。
⑤	コラボレーションを終了します。

●セッションに参加する端末の DisplayNote 起動画面（参考情報）

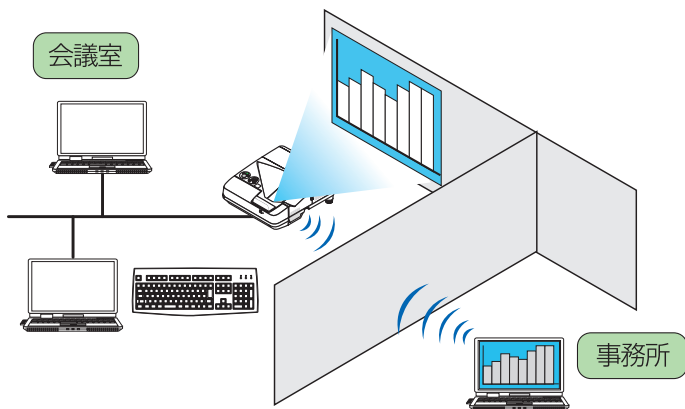


番号	説明
①	氏名を入力します。
②	セッション ID を入力します。
③	①、②を入力後にクリックします。

(注) DisplayNote の画面は予告なく変更する場合があります。

5. リモートデスクトップ接続

- プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。そして、市販のキーボードを操作することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7 のコンピュータを操作します。
- リモートデスクトップ機能により、プロジェクター（本機）から離れたところに設置してあるコンピュータを遠隔操作できます。



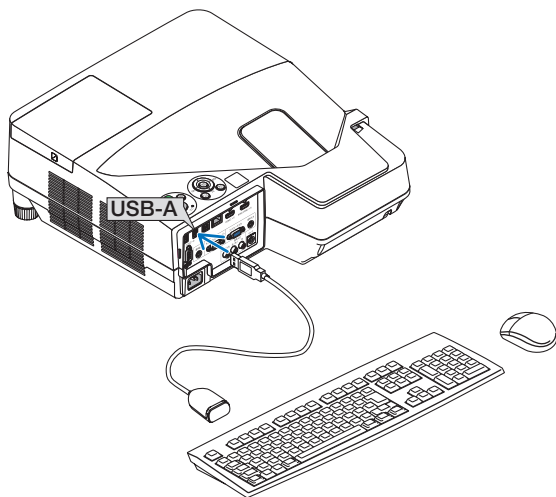
重要

- この機能を使用できる Windows の種類は次のとおりです。
 - ・ Windows 8 Pro
 - ・ Windows 8 Enterprise
 - ・ Windows 7 Professional
 - ・ Windows 7 Ultimate
 - ・ Windows 7 Enterprise
- 本書では Windows 7 を例にしてこの機能を説明しています。
- リモートデスクトップ接続を行う際は、USB キーボードをプロジェクター本体に接続する必要があります。
- リモートデスクトップ接続は、USB キーボードだけでも操作できますが、さらに USB マウスを使用すると操作性が向上します。USB キーボードおよび USB マウスは、コンピュータ用として市販されている製品をお使いください。
- キーボードとマウスを同時に使用したい場合は、USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのコンピュータ用として市販されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをお使いください。ただし、本機の USB ポートは、市販されているすべてのキーボードおよびマウスの動作を保証するものではありません。
- USB ハブを内蔵している USB キーボードは使用できません。また、Bluetooth 接続のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは使用できません。
- リモートデスクトップ接続のログイン画面では、英字配列キーボード（通称 101 キーボード）を使用してください。日本語キーボード（JIS 配列キーボードなど）を使用した場合、キーに印刷された文字と異なる文字が入力されることがあります。

●ワイヤレスキーボードを準備する

※ 次のイラストは、市販のUSB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの例です。製品によって形状や仕様が異なります。

- 1 USB ワイヤレスレシーバーの USB 端子を本機の USB ポートに差し込む。



- 2 リモコンの **(APPS)** ボタンを押して、APPS メニューを表示する。
- 3 「ツール」 にフォーカスを合わせ、 **(決定)** ボタンを押す。
- 4 「マウス設定」 にフォーカスを合わせ、 **(決定)** ボタンを押す。
- 5 「マウス」 にフォーカスを合わせ、 **(決定)** ボタンを押す。
チェックマークが付きます。
- 6 「戻る」 にフォーカスを合わせ、 **(決定)** ボタンを押す。
- 7 リモコンの **(スタンバイ)** ボタンを 2 回押す。
プロジェクターの電源が切れます。
- 8 リモコンの **(入)** ボタンを押す。
プロジェクターの電源が入り、プロジェクターに接続している USB マウスが使用できる状態になります。

● Windows 7 のユーザーアカウントにパスワードを設定する

※ すでにユーザーアカウントにパスワードが設定されている場合は、以下の手順 **8** までの操作は省略できます。

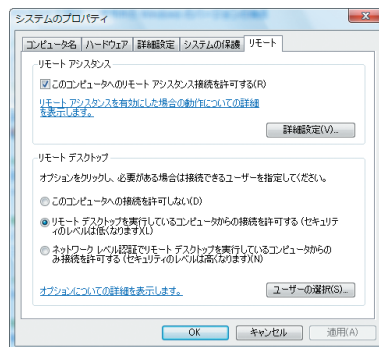
- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で **[スタート]** ボタンをクリックする。

- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] の下に表示されている [ユーザーアカウントの追加または削除] をクリックする。
- 4 [Administrator] をクリックする。
- 5 [アカウントのパスワードの作成] をクリックする。
- 6 [新しいパスワード] 欄にパスワードを入力する。
- 7 [新しいパスワードの確認] 欄に手順6と同じパスワードを入力する。
- 8 [パスワードの作成] をクリックする。
Administrator が「パスワード保護」に変わりました。

●リモートアクセスの許可を設定する

- 1 Windows 7のデスクトップ画面で[スタート]ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [システムとセキュリティ] をクリックする。
- 4 [システム] の下に表示されている [リモートアクセスの許可] をクリックする。
- 5 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[続行 (C)] をクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

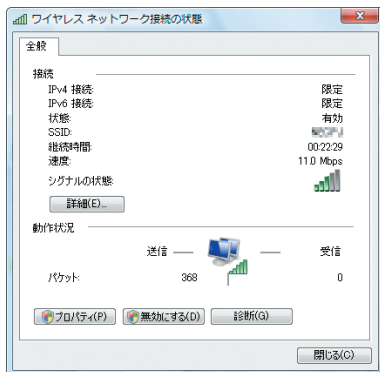
- 6 リモートデスクトップ欄の [リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する (セキュリティのレベルは低くなります) (L)] をクリックし、[OK] をクリックする。



● Windows 7 側の IP アドレスを確認する

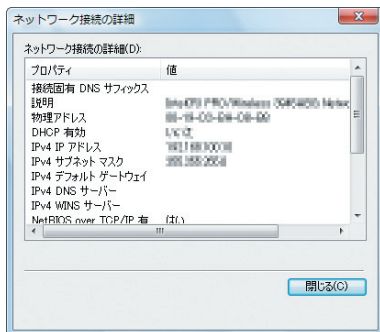
- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で[スタート]ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ネットワークとインターネット] の下に表示されている [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックする。
- 4 無線 LAN で接続している場合は、画面の [ワイヤレスネットワーク接続 (xxxxxxx)] の右に青色で表示されている [状態の表示] をクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されます。



5 [詳細 (E)] をクリックする。

表示された「IPv4 IP アドレス」の値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をメモします。



6 [閉じる (C)] をクリックする。

7 ウィンドウの右上の [X] をクリックする。

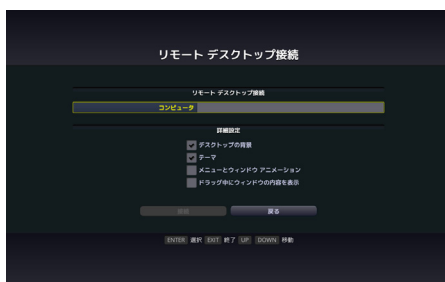
デスクトップ画面に戻ります。

● リモートデスクトップ接続を開始する

- 1 本機の電源が入っている状態でリモコンの (APPS) ボタンを押す。
APPS メニュー画面が表示されます。



- 2 APPS メニューから「リモートデスクトップ接続」を選択する。
「リモートデスクトップ接続」画面が表示されます。



- 3 キーボード、マウス、リモコンのいずれかひとつを操作して、Windows 7 側の IP アドレスを入力し、[接続] をクリックする。
本機で投写した画面に Windows 7 のログオン画面が表示されます。

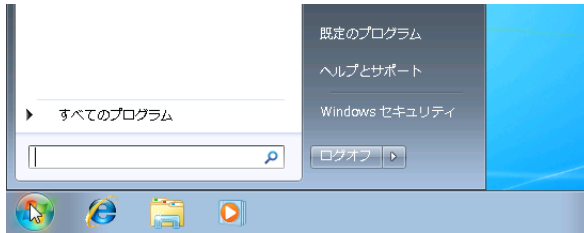
- 4 キーボードを操作して、ユーザーのパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。
リモートデスクトップ接続が開始され、本機で投写した画面に Windows 7 のデスクトップが表示されます。
コンピュータはログアウトします。キーボードを使って、Windows 7 を操作します。

注意

- 正常に接続できず黒い画面が表示され続ける場合や、予期せぬ切断等によりリモートデスクトップ画面の操作を行えなくなった場合は、リモコンの (APPS) ボタンを押して APPS メニューを表示し、リモートデスクトップ接続を選択して「切断」ボタンを実行後、再度接続を行ってください。

● リモートデスクトップ接続を終了する

- 1 マウスを操作して、本機から投写されているデスクトップ画面の [スタート] ボタンをクリックする。



- 2 スタートメニューの右側にある [ログオフ] をクリックする。
リモートデスクトップ接続が終了します。

- 3 リモコンの (APPS) 以外の入力端子のボタンを押します。

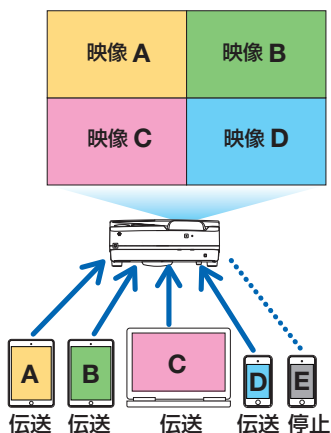
参考

- リモートデスクトップ接続の [詳細設定] について
リモートデスクトップ接続の [詳細設定] は、リモートデスクトップ画面の操作中において、デスクトップの背景を表示したり、ウィンドウアニメーションなどを有効にすることができます。

設定項目	チェックを外しているときの動作
デスクトップの背景	デスクトップの背景を単色で表示します。
テーマ	テーマを使用しません。
メニューとウィンドウアニメーション	メニューとウィンドウのアニメーション効果を無効にします。
ドラッグ中にウィンドウの内容を表示	ウィンドウをドラッグするときに、ウィンドウの枠だけを表示します。

6. MultiPresenter

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、OS X、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。
- 複数（最大 50 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4×4 分割）して一度に投写することができます。
- MultiPresenter の動作モードには、フリーモードと管理モードがあります。モード選択は、ネットワーク設定の「MultiPresenter」で行います。（🔗 43 ページ）
 - ・ フリーモードは、コンピュータにインストールした Image Express Utility Lite、およびコンピュータやスマートフォンなどにインストールした MultiPresenter アプリケーションから自由に接続できるモードです。画面の分割パターンは、接続している端末の台数に応じて変わります。また、端末側から分割表示と全画面表示を選択することができます。
 - ・ 管理モードは、フリーモードと同様に複数台の端末を接続中に、分割表示から全画面表示に切り替えたりもとに戻す操作を“リモコン”か“WEB サーバ”を使用して行うことができます。
 - リモコン …… 端末を接続し画面を投写中に（決定）ボタンを押すと、画面分割パターンを選択するメニューを表示します。
 - WEB サーバ… 画面分割や並び替えなどをより細かく設定することができます。（🔗 32 ページ）



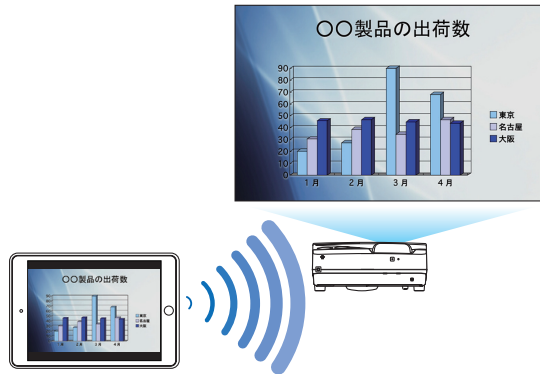
- コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。ソフトウェアについての詳しい説明はヘルプファイルをご覧ください。
または、MultiPresenter を当社のホームページからダウンロードして、コンピュータやスマートフォンへインストールしてください。
<http://www.nec-display.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>
- 当社のアプリケーションソフト Image Express Utility 2.0 も使用できます。当社のホームページからダウンロードしてコンピュータにインストールしてください。ただし、Image Express Utility 2.0 は、同時接続および同時表示はできません。

7. Miracast

Android 端末などの Miracast 規格に対応した無線端末と本機をワイヤレスで接続し、無線端末の画像を本機でミラーリング投写することができます。

接続する前に本機のネットワーク設定で「Miracast」を設定してください。

[\(38 ページ\)](#)

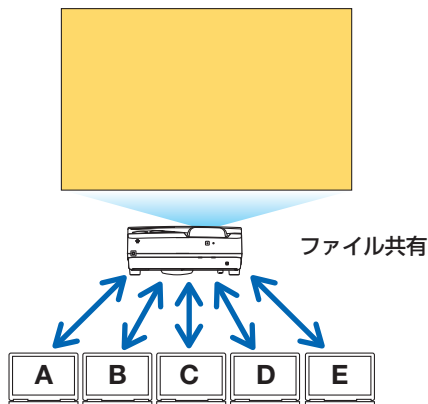


注意

- 使用している Miracast 対応無線端末や電波環境によっては、映像や音声途切れたりすることがあります。
- Miracast の接続手順は Miracast 対応無線端末によって異なります。詳しくは Miracast 対応無線端末の取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- 本機の Miracast 機能は、市販されているすべての Miracast 対応無線端末との接続を保証するものではありません。

8. WEB サーバ機能

- 専用のファイル共有ソフトウェアを使用することなく、プロジェクター（本機）とネットワークで接続しているコンピュータ同士で、ウェブブラウザを使用して本機のウェブサーバにアクセスすることによって、画面やファイルを共有することができます（WEB シェアリング [▶次ページ](#)）。
- MultiPresenter で複数の端末の画面をプロジェクターで同時に表示中に、コンピュータのウェブブラウザを使用して、画面の分割数を変えたり、表示順を変更したりすることができます（MultiPresenter [▶ 31 ページ](#)）。
- コンピュータのウェブブラウザ画面からプロジェクター（本機）を制御することができます（PROJECTOR CONTROL [▶ 34 ページ](#)）。



- WEB サーバ機能は、次のウェブブラウザに対応しています。

Windows 用	・ Internet Explorer 11 ・ Chrome 最新版
OS X 用	・ Safari 6 以降
iOS 用	・ Safari 最新版
Android 用	・ Chrome 最新版

※スマートフォン、タブレットを使用する場合、コンピュータに比べ一部機能に制限があります。
※PROJECTOR CONTROL は、コンピュータでのみ使用できます。

● WEB サーバへのアクセス方法

コンピュータとプロジェクター（本機）をネットワークで接続します。
コンピュータでウェブブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。

URL = http://（プロジェクターの IP アドレス）

- プロジェクターの IP アドレスは、APPS メニューの右下に表示されています。
- プロジェクターの無線 LAN が「簡易アクセスポイント」モードで動作しているときは、ウェブブラウザの URL 入力欄に任意の文字列を入力することでも WEB サーバにアクセスすることができます。この場合プロジェクターの IP アドレスを入力する必要がありません。ただし、WEB サーバへのアクセスに失敗する場合は、プロジェクターの IP アドレスを入力してください。

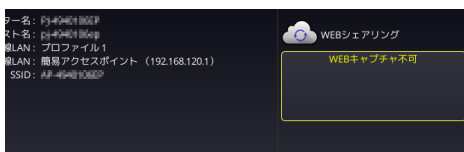
8-1.WEB シェアリング

● WEB シェアリングの設定をする

- 1 本機とコンピュータをネットワークで接続する。
- 2 プロジェクターの APPS メニューを表示する。

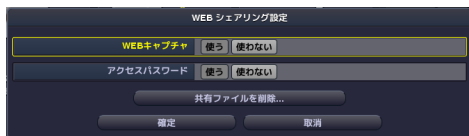


- 3 APPS メニュー内の「WEB シェアリング」の下の枠にフォーカスを移動する。



- 4 リモコンの(決定)ボタンを押す。

WEB シェアリングの設定画面を表示します。

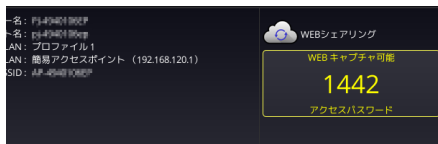


項目	説明	備考
WEB キャプチャ	プロジェクターに表示されている画面のキャプチャ画像の自動配信を可能にするか、禁止するかを設定します。「使う」にするとプロジェクターの画面を約 5 秒おきにブラウザの画面に表示します。	工場出荷時は「使わない」が設定されています。
アクセスパスワード	WEB シェアリング画面にアクセスする際のログインパスワードを表示するか、しないかを設定します。	工場出荷時は「使わない」が設定されています。
共有ファイルを削除	共有ファイルを削除します。	

- 5 設定を行ったら、「確定」にフォーカスを移動し、(決定)ボタンを押す。

WEB キャプチャを「使う」、アクセスパスワードを「使う」に設定した場合は次の画面が表示されます。

アクセスパスワードは、再設定されるか、プロジェクターの電源オフ/オンを行うたびに異なる数字が変わります。



● WEB シェアリングを開始する

1 コンピュータでウェブブラウザを起動し、WEB サーバにアクセスする。

・26 ページの「WEB サーバへのアクセス方法」をご覧ください。

2 APPS メニューに表示されている 4 桁の数字を入力し、「Login」をクリックする。

・手順 5 でアクセスパスワードを「使わない」にしているときは、WEB シェアリング画面が表示されます。

WEB シェアリング画面が表示されます。



・「PROJECTOR CONTROL」タブをクリックすると、PROJECTOR CONTROL のページに切り替わります。また、「MultiPresenter」タブをクリックすると、MultiPresenter のページに切り替わります。

● WEB シェアリング画面の操作

● プロジェクターで投写中の APPS メニューの機能（ビューワ、ホワイトボード、コラボレーション、リモートデスクトップ接続、MultiPresenter など）の画面を約 5 秒おきにウェブブラウザの画面に表示し、必要な画面をコンピュータに保存できます（WEB キャプチャ）。

※ キャプチャできない状態のとき、5 秒おきの更新は行われません。キャプチャについては、プロジェクターの取扱説明書の「3-2. 動画を静止画にする／画面をキャプチャする（静止）」をご覧ください。

● 現在投写中の画面に文書を追加して 10 ページまでメモを作成することができます。作成したメモは画像としてコンピュータに保存することができます。

● プロジェクターメモリに保存されている画像をウェブブラウザ画面に表示し、コンピュータに保存できます。

プロジェクターメモリは一時的な保存場所です。プロジェクターの電源を切るとメモリ内の画像は消えます。

● コンピュータ内のファイルをプロジェクターにアップロードし、プロジェクターにネットワークで接続しているコンピュータ同士で共有できます。

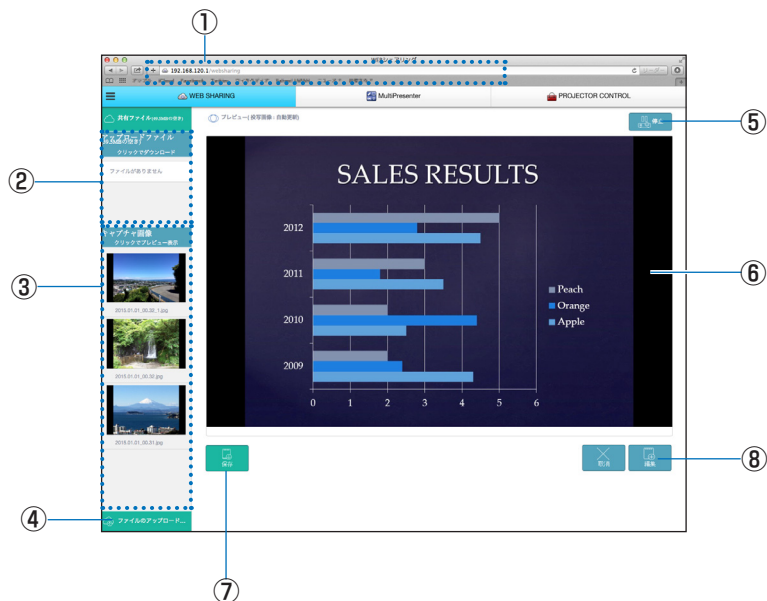
注意

● Safari を使用していると、リロードのタイミングによっては画面表示が正常に行えないことがあります。Safari を再起動して試してください。

● HTML 形式での会議保存機能(30 ページのメモ作成画面の③)は、iOS デバイス、OS X デバイスでは使用できません。1 ページごとに保存してください。

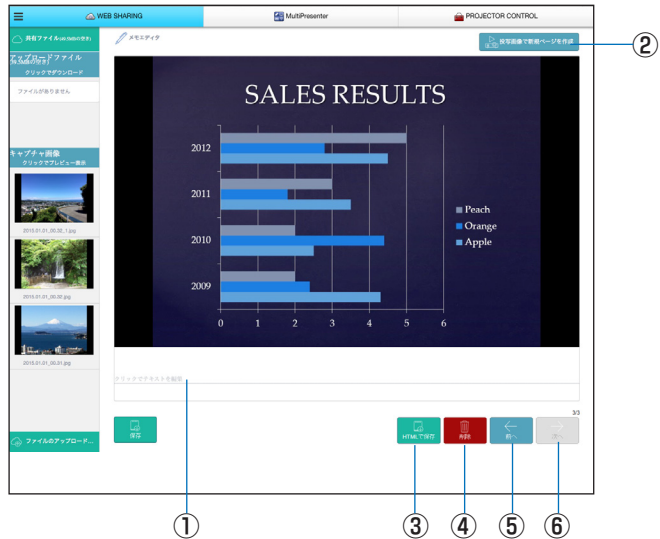
● お使いのブラウザが Internet Explorer の場合、WEB キャプチャ中での右クリックでの保存が正常に行えないことがあります。次ページ⑤の「停止」ボタンを押して、5 秒おきの更新を止めてからの保存をおすすめします。

● 1 台のプロジェクターに最大 50 台までの端末を同時に接続できます。ただし、使用するプロジェクターやネットワーク機器の性能によって同時接続できる台数が変わります。



番号	説明
①	http:// (プロジェクターの IP アドレス)
②	ネットワーク上のコンピュータ同士で共有するファイル名を表示します。 ファイル名をクリックするとコンピュータにダウンロードできます。 (注) タブレット端末等でダウンロードしたファイルを使用する場合、別途アプリが必要になることがあります。
③	プロジェクターメモリに保存されている画像のリストをサムネイル表示します。 クリックするとブラウザの中央に表示します。
④	使用中のコンピュータから共有するファイルを呼び出しプロジェクターにアップロードします。 呼び出したファイル名は、上の「アップロードファイル」に表示されます。
⑤	5 秒おきの更新を止めます。 もう一度クリックすると更新を再開します。
⑥	プロジェクターで投写している APPS メニューの機能(ビューワ、ホワイトボード、リモートデスクトップ接続、MultiPresenter など) の画面を約 5 秒おきに表示します。また③をクリックしたときにプロジェクターメモリに保存されている画像を表示します。
⑦	⑥に表示されている画像をコンピュータに保存します。 (注) iOS デバイス、OS X デバイスでは表示されません。
⑧	現在中央に表示されている画面を使用し、メモを作成します。

●メモ作成画面



番号	説明
①	クリックして文章を入力します。入力し終わったら、右側の「OK」をクリックして決定します。
②	新しいページを作成します。
③	すべてのページをまとめて1ファイルにして保存します。 (注) iOS デバイス、OS X デバイスでは表示されません。
④	編集中のページまたはすべてのページを削除します。
⑤	前のページに戻ります。
⑥	次のページを表示します。

8-2. MultiPresenter

● MultiPresenter 設定を「管理」モードにする

1 APPS メニューの「ネットワーク設定」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。

2 「MultiPresenter」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。
MultiPresenter 設定画面が表示されます。

3 「モード」欄にフォーカスを合わせ「管理」を選択する。

4 「確定」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。

参考

- 「HTTP パスワード」を設定すると、ウェブブラウザで MultiPresenter のページに切り替える際にパスワード入力ウィンドウを表示します。

● コンピュータやタブレットなど複数の端末の画面をプロジェクターで同時に表示する

- Image Express Utility Lite は、添付の CD-ROM に収録しています。また当社のホームページからもダウンロードできます。
- Image Express Utility Lite のインストールや操作方法は、プロジェクター本体の取扱説明書や各ソフトのヘルプをご覧ください。
または、MultiPresenter を当社のホームページからダウンロードして、コンピュータやスマートフォンへインストールしてください。

● MultiPresenter を開始する

1 コンピュータとプロジェクターをネットワークで接続する。

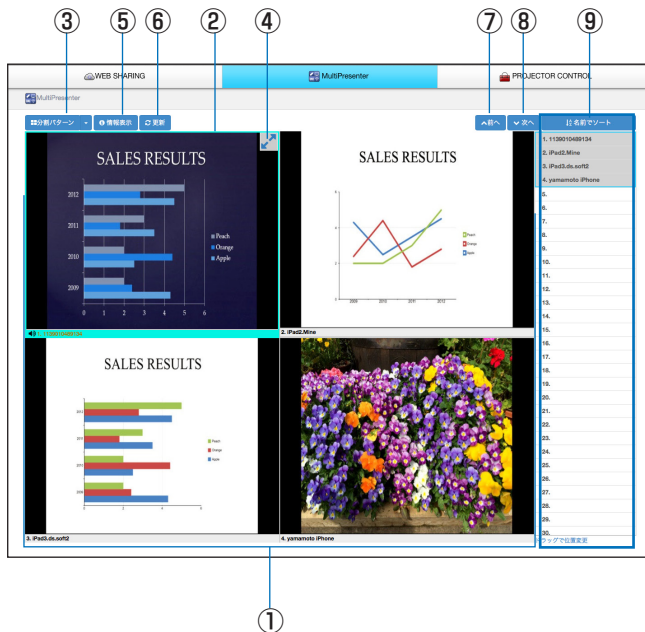
2 コンピュータでウェブブラウザを起動し、WEB サーバにアクセスする。
・ [26 ページ](#)の「WEB サーバへのアクセス方法」をご覧ください。

3 「MultiPresenter」タブをクリックする。

MultiPresenter のページに切り替わります。

- APPS メニュー→ネットワーク設定→MultiPresenter 設定画面で「HTTP パスワード」を設定している場合は、パスワードを入力してください。認証後、MultiPresenter の画面が表示されます。

● MultiPresenter 画面の操作



番号 / 名称	説明
①サムネイル画像	<ul style="list-style-type: none"> ● Image Express Utility Lite や MultiPresenter アプリケーションからプロジェクター（本機）へ送信している画面のサムネイル画像です。 ● ユーザーがいない画面や、APPS メニューで「MultiPresenter」が選択されていないとき、黒く表示されます。 ● サムネイル画像を他のサムネイル画像にドラッグ・アンド・ドロップすることで、表示位置を入れ替えることができます。
②フォーカス	● フォーカスは、水色の枠で表示されます。
③画面分割数の切り替え	● 「分割パターン」ボタンをクリックすると、分割数を変更することができます。会議の用途にあわせ、2x1、2x2、3x3、4x4、1+12のパターンから選択することができます。
④画面の最大化	クリックするとフォーカスのある画像が最大化します。もう一度クリックするともとに戻ります。
⑤投写画面における端末名の表示 / 非表示の切り替え	● プロジェクターの画面に端末情報を表示するかしないかを切り替えることができます。
⑥サムネイル画像の更新	● 「更新」ボタンをクリックすると、サムネイル画像を最新の状態に更新します。
⑦⑧ページ切り替え	● 「前へ」ボタン、「次へ」ボタンで、表示するページを、前のページ / 次のページに切り替えることができます。

次ページへ続く

⑨端末リスト	<ul style="list-style-type: none">● プロジェクターに Image Express Utility Lite や MultiPresenter アプリケーションを使って接続している端末名の一覧です。● 画面に表示されているページはグレーで表示されます。● 端末名をサムネイル画像にドラッグ・アンド・ドロップすると、表示位置を入れ替えることができます。● 「名前でソート」 ボタンをクリックすると端末名を名前順にソートできます。
--------	---

注意

- 本機能を使用するには、コンピュータやタブレットの画面が プロジェクターの画面に投写されている必要があります。Image Express Utility Lite、MultiPresenter アプリケーションの詳しい使用方法は、各アプリケーションのヘルプやユーザーマニュアルをご覧ください。
- 本機能は、1 人用の機能です。既に他のコンピュータで本機能が使用されているとき、同時に使用することはできません。

8-3. PROJECTOR CONTROL

プロジェクターを制御する「PROJECTOR ADJUSTMENTS」画面と、ネットワーク設定を行う「NETWORK SETTINGS」画面の2つがあり、タブで切り替えます。

● PROJECTOR CONTROL を開始する

- 1 本機とコンピュータをネットワークで接続する。
- 2 コンピュータでブラウザを起動し、WEB サーバにアクセスする。
 - ・26 ページの「WEB サーバへのアクセス方法」をご覧ください。
WEB シェアリング画面が表示されます。
 - ・「PROJECTOR CONTROL」タブをクリックすると、PROJECTOR CONTROL に切り替わります。

● プロジェクターを制御する (PROJECTOR ADJUSTMENTS)

映像や音量の調整、入力端子の切り替えなどが行えます。また、ランプ残量、ランプ使用時間、フィルタ使用時間を確認できます。

● ネットワーク設定を行う (NETWORK SETTINGS)

有線 LAN および無線 LAN の設定は、「9. ネットワーク設定」をご覧ください。

(🔗 35 ページ)

- アラートメール設定 (ALERT MAIL)
機能説明は🔗 44 ページをご覧ください。
- ネットワークサービス (NETWORK SERVICE)
HTTP サーバへのログインパスワード、PJLink を使用するときのログインパスワード、および AMX BEACON の有効/無効を設定します。
- CRESTRON 設定 (CRESTRON)
機能説明は🔗 45 ページをご覧ください。
- ネットワーク情報 (INFORMATION)
本機に設定されているネットワークの情報を表示します。

9. ネットワーク設定

本機を有線 LAN、無線 LAN に接続するための設定を行います。

9-1. プロジェクター名

本機のプロジェクター名とホスト名を設定します。工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。

項目	説明	備考
プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	英数字 最大 16 文字
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 16 文字

9-2. ネットワーク情報

本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続したときの情報を表示します。

9-3. 有線 LAN

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

項目	説明	備考
プロファイル	本機を有線 LAN に接続するときの設定を 2 とおり（プロファイル 1 とプロファイル 2 に）登録できます。	
DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / 自動 DNS	必要な設定を行います。	
再接続	ネットワークの接続を試みます。設定を変更したときに実行してください。	



- DHCP 設定時に LAN ケーブルの抜き差しなどで IP アドレスを取得できなかった場合は、一旦本機の電源を切って再度電源を入れなおしてください。

9-4. 無線 LAN

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。

項目	説明	備考
プロファイル	無線 LAN で接続するときの設定名を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 無効 本機に接続している無線 LAN ユニットから電波を出しません。 インテリジェントコネクション 本機に MultiPresenter アプリケーションを使って接続するとき、PIN コード（4桁の数字）入力による接続を有効にします。 簡易アクセスポイント 本機を簡易アクセスポイントにして、コンピュータやスマートフォンと接続します。 Wi-Fi Direct Wi-Fi Direct に対応した機器と接続します。 Miracast Miracast に対応した機器と接続します。 プロファイル 1 / プロファイル 2 無線 LAN の設定を 2 とおり登録できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は、「無効」が設定されています。 簡易アクセスポイントを設定しているとき、本機の IP アドレスは「192.168.120.1」または「192.168.130.1」になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易アクセスポイントのとき、同時に接続できるのは 20 台までです。通常 10 台程度をおすすめします。 </div>
DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / DNS	プロファイル 1 または プロファイル 2 を選択しているときに設定できます。	
詳細設定	設定項目は、プロファイルの選択肢ごとに異なります。次の表をご参照ください。	
再接続	ネットワークの接続を試みます。設定を変更したときに実行してください。	

● 詳細設定（インテリジェントコネクション）

項目	説明	備考
セキュリティ設定	セキュリティの種類（WPA2-PSK）を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は「無効」が設定されています。 WPA2-PSK のキーは、半角英数記号 8 ～ 63 文字
LAN モード	無線モードを選択します。	工場出荷時は「IEEE802.11b/g/n」が設定されています。
チャンネル	無線チャンネルを選択します。	工場出荷時は「6」が設定されています。

●詳細設定（簡易アクセスポイント）

項目	説明	備考
WPS 設定	WPS プッシュボタン方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 無効 WPS の機能を無効にします。 プッシュボタン WPS プッシュボタン方式を選択します。 APPS メニューに WPS プッシュボタンが表示されます。 	
セキュリティ設定	セキュリティの種類（WPA2-PSK）を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は「無効」が設定されています。 WPA2-PSK のキーは、半角英数記号 8 ～ 63 文字
SSID	SSID を設定します。	半角英数記号 1 ～ 32 文字 工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。
LAN モード	無線モードを選択します。	工場出荷時は「IEEE802.11b/g/n」が設定されています。
チャンネル	無線チャンネルを選択します。	工場出荷時は「6」が設定されています。

プッシュボタン方式のときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューの WPS プッシュボタンを押す。
APPS メニューに WPS のカウントダウンが表示されます。
- 2 カウントダウン中に WPS 対応無線端末（クライアント側）の WPS プッシュボタンを押す。
本機と WPS 対応無線端末（クライアント側）が接続します。

●詳細設定（Wi-Fi Direct）

項目	説明	備考
WPS 設定	WPS プッシュボタンの方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 自動プッシュボタン Wi-Fi Direct 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を省略できます。 プッシュボタン Wi-Fi Direct 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を行います。 	工場出荷時は「自動プッシュボタン」が設定されています。

自動プッシュボタンのときの接続方法

- 1 Wi-Fi Direct 対応無線端末で Wi-Fi Direct 対応デバイスの検索機能を実行する。
- 2 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機と Wi-Fi Direct 対応無線端末が接続します。

プッシュボタンのときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューを表示する。
- 2 Wi-Fi Direct 対応無線端末で Wi-Fi Direct 対応デバイスの検索機能を実行する。
- 3 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機の APPS メニューに接続要求のカウントダウンが表示されます。
- 4 カウントダウン中に受け入れるボタンを押す。
本機と Wi-Fi Direct 対応無線端末が接続します。

●詳細設定（Miracast）

項目	説明	備考
WPS 設定	WPS プッシュボタンの方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 自動プッシュボタン Miracast 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を省略できます。• プッシュボタン Miracast 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を行います。• PIN コード 本機が表示する PIN コードを Miracast 対応無線端末へ入力して接続します。	工場出荷時は「自動プッシュボタン」が設定されています。
HDCP 設定	HDCP によるコンテンツ保護機能の対応を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 無効…HDCP 非対応になります• 有効…HDCP に対応します。	工場出荷時は「有効」が設定されています。 本機は HDCP2.2 に対応しています。

自動プッシュボタンのときの接続方法

- 1 Miracast 対応無線端末（送信側）で Miracast 対応デバイス（受信側）の検索機能を実行する。
- 2 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機と Miracast 対応無線端末（送信側）が接続し、Miracast を開始します。

プッシュボタンのときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューを表示する。
- 2 Miracast 対応無線端末（送信側）で Miracast 対応デバイス（受信側）の検索機能を実行する。
- 3 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機の APPS メニューに接続要求のカウントダウンが表示されます。
- 4 カウントダウン中に受け入れるボタンを押す。
本機と Miracast 対応無線端末（送信側）が接続し、Miracast を開始します。

PIN コード方式のときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューを表示する。

- 2 Miracast 対応無線端末（送信側）で Miracast 対応デバイス（受信側）の検索機能を実行する。
- 3 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機の APPS メニューに PIN コードとカウントダウンが表示されます。
- 4 カウントダウン中に Miracast 対応無線端末（送信側）に PIN コードを入力する。
本機と Miracast 対応無線端末（送信側）が接続し、Miracast を開始します。

●詳細設定（プロフィール1 / プロフィール2）

項目	説明	備考
サイトサーベイ	<ul style="list-style-type: none"> • サイトサーベイを実行し、検出したアクセスポイントを表示します。 • 最大 64 のアクセスポイントを表示します。 • SSID が同名のアクセスポイントは 1 つだけ表示されます。 • 対象のアクセスポイントは、セキュリティが無効、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-EAP、WPA2-EAP です。 • アクセスポイントのセキュリティが有効のとき「鍵」マークが付きます。 	<p>本機に無線 LAN ユニットを接続していない場合は選択できません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>注意</p> <p>アクセスポイントが検出されない場合は、無線 LAN 画面で「再接続」ボタンを選択したあとに、あらかじめサイトサーベイを選択してください。</p> </div>
セキュリティ設定	<p>セキュリティの種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 セキュリティを無効にします。 • WPA2-PSK キーの入力欄が表示されます。 • WPA/WPA2-PSK キーの入力欄が表示されます。 • WPA2-EAP 認証設定の項目が表示されます。 • WPA/WPA2-EAP 認証設定の項目が表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷時は「無効」が設定されています。
SSID	SSID を設定します。	<p>半角英数記号 1 ~ 32 文字</p> <p>工場出荷時は「NECPJ」が設定されています。</p>

「認証設定」（WPA2-EAP または WPA/WPA2-EAP を使用する場合）

設定の準備

無線 LAN に対応した WPA2-EAP 認証を選択し、電子証明書を本機にインストールします。

- 1 本機の「日付と時刻設定（タイムゾーン設定を含む）」設定を行う。（🔵 54 ページ）
- 2 コンピュータを使って、WPA2-EAP の設定に必要な電子証明書（ファイル）を USB メモリに保存する。
必要なファイルを保存したら、コンピュータから USB メモリを取り外してください。



- 本機にインストールできる電子証明書のファイル形式は、DER 形式と PKCS#12 形式です。
- ファイルサイズが 8 キロバイトを超える電子証明書は、本機で使用できません。
- 本機が対応するクライアント証明書のファイル拡張子は「.pfx」と「.p12」、ルート証明書のファイル拡張子は「.cer」と「.der」です。

- 3 電子証明書を保存した USB メモリを、本機の接続端子部にある USB ポートに差し込む。

設定方法

- 1 「セキュリティ設定」画面の「セキュリティの種類」で「WPA2-EAP」または「WPA/WPA2-EAP」を選択する。
- 2 「認証設定」にフォーカスを合わせて、**(決定)**ボタンを押す。
EAP タイプは、「EAP-TLS」または「PEAP-MSCHAPV2」を選択でき、EAP タイプによって設定項目が異なります。次の表を参照してください。

EAP タイプ	設定する項目	設定する内容
EAP-TLS	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	クライアント証明書	PKCS#12 形式のファイル
	ルート証明書	DER 形式のファイル
PEAP-MSCHAPV2	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	パスワード	1 文字以上、32 文字以下
	ルート証明書	DER 形式のファイル

EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合は、 このページの手順 **3**へ

EAP タイプで「PEAP-MSCHAPV2」を選択する場合は、 41 ページの手順 **3**へ

① EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合

ここからは「EAP-TLS」を選択する場合の操作です。

- 3 [ユーザー名] 欄にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。
・ ユーザー名は、1 文字以上、32 文字以下で入力してください。
- 4 ユーザー名を設定したら、[クライアント証明書] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます
・ 認証設定に戻る場合は、**(戻る)**ボタンを押します。



電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに 1 ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 5** ファイル画面内の電子証明書 (PKCS#12 形式のファイル) にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
パスワード画面が表示されます。
- 6** パスワード入力欄にフォーカスが合っていることを確認し、**(決定)**ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、秘密鍵のパスワードを入力してください。
パスワードは、1文字以上、32文字以下で入力してください。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。
・手順**5**で選択したファイルにルート認証局証明書が含まれていない場合は、手順**7**に進みます。
ルート認証局証明書が含まれている場合は、手順**9**に進みます。
- 7** [ルート証明書] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます。
- 8** ファイル画面内の電子証明書 (DER 形式のファイル) にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
・ここではルート認証局証明書を選択してください。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。
- 9** 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
セキュリティページに戻ります。
- 10** [確定] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
詳細設定に戻ります。

これで WPA-EAP, WPA2-EAP の EAP タイプ 「EAP-TLS」 の設定が終わりました。

参考

●本機にインストールした電子証明書をクリアする

本機にインストールした電子証明書をクリアするときは、次のように操作します。
表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

- 1** [認証設定] 画面の下にある [証明書のクリア] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。

- 2** [はい] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

② EAP タイプで「PEAP-MSCHAPV2」を選択する場合

- 3** [EAP タイプ] 欄にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。
- 4** [PEAP-MSCHAPV2] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
- 5** [ユーザー名] 欄にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。
・ユーザー名は 32 文字以下で入力してください。

- 6** ユーザー名を設定したら、[パスワード] 欄にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
- パスワードは 32 文字以下で入力してください。
 - PEAP-MSCHAPV2 では、証明書を使用する／使用しないを選択できます。証明書を使用する場合は、[証明書] を [使う] にしてください。証明書を使用しない場合は、[証明書] を [使わない] にしてください。
- 7** パスワードを設定したら、[ルート証明書] にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます。
- 認証設定に戻る場合は、(戻る)ボタンを押します。

注意

電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに 1 ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 8** ファイル画面内の電子証明書（DER 形式のファイル）にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。
- 9** 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
セキュリティページに戻ります。
- 10** [確定] にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
詳細設定に戻ります。

これで WPA2-EAP の EAP タイプ「PEAP-MSCHAPV2」の設定が終わりました。

参考

● **本機にインストールした電子証明書をクリアする**

本機にインストールした電子証明書をクリアするときは、次のように操作します。

表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

- 1** [詳細設定] 画面の下にある [証明書のクリア] にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 2** [はい] にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

9-5. MultiPresenter

APPS メニューの MultiPresenter を使用する際の設定を行います。

モードについて

- フリーモードは、コンピュータやスマートフォンなどにインストールした MultiPresenter アプリケーションから本機に自由に接続できるモードです。
画面の分割パターンは、接続している端末の台数に応じて変わります。また、端末側から分割表示と全画面表示を選択することができます。
- 管理モードは、フリーモードと同様に複数台の端末を本機に接続中に、分割表示から全画面表示に切り替えたりもとに戻す操作を、本機の“WEB サーバ”を使用して行うモードです。

項目	説明	備考
モード	動作モードを選択します。 フリー……フリーモードを設定します。 管理……管理モードを設定します。	工場出荷時は「フリー」が設定されています。
HTTP パスワード	WEB サーバ機能で MultiPresenter の制御画面にログインするためのパスワードを設定することができます。	最大 32 文字までの英数字。 空白に設定すると、パスワードは「なし」となります。 初期値：空白。
PIN の種類	・ ワンタイム 4 桁の PIN コードを自動で生成します。PIN コードはプロジェクターの電源を入れたときに生成され、電源を切るまで保持されます。 ・ 固定 任意の 4 桁の PIN コードを設定します。	・ 工場出荷時は「ワンタイム」が設定されています。
PIN コード	「PIN の種類」で「固定」を選択したときに任意の PIN コードを設定します。	・ 入力可能な文字は数字のみ、4 桁です。
PIN コードを接続パスワードとして使用する	MultiPresenter アプリケーションを本機に接続するときに PIN コードをパスワードとして使用する / 使用しないを設定します。 ・ チェックなし PIN コードをパスワードとして使用しません。 ・ チェックあり PIN コードをパスワードとして使用します。	・ 工場出荷時は「チェックなし」に設定されています。



- MultiPresenter を使用中に動作モードの設定を変更した場合、即時には反映されません。
MultiPresenter が未使用になったときに、動作モードの変更が反映されます。

9-6. ネットワークサービス

● AMX 設定

本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。工場出荷時は、チェックマークが付いていません。

AMX Device Discovery については、AMX 社のホームページをご覧ください。

● HTTP サーバ設定

PROJECTOR CONTROL 画面にログインするためのパスワードを設定します。パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。

● PJLink 設定

PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合のログインパスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。

● アラートメール設定

本機をネットワークに接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を電子メールでコンピュータなどへ通知します。

項目	説明	
メール通知	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <p>チェックマークを付ける…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p>チェックマークを外す……メール通知機能は停止します。</p> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <table border="1"><tr><td>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 [情報] プロジェクター名 : xxxx ランプ使用時間 : xxxx [H]</td></tr></table>	ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 [情報] プロジェクター名 : xxxx ランプ使用時間 : xxxx [H]
ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 [情報] プロジェクター名 : xxxx ランプ使用時間 : xxxx [H]		
差出人アドレス	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 電子メールの「from」にあたるアドレスです。	
SMTP サーバ名	本機が接続する SMTP サーバを設定します。	
宛先アドレス 1/2/3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 電子メールの「to」にあたるアドレスです。	
送信テスト	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 <ul style="list-style-type: none">送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。	

● CRESTRON 設定

本機をクレストロン製品に接続する場合に設定します。


項目	説明	備考
ROOMVIEW	コンピュータで制御する場合にチェックマークを付けます。	
CRESTRON CONTROL	コントローラで制御する場合にチェックマークを付けます。	
IP アドレス	コントローラの IP アドレスを設定します。	
IP ID	コントローラの IP ID を設定します。	

10. ツール

10-1. ペン設定

電子ペンをはじめて使用するときやプロジェクターの設置場所を変更したときは、電子ペンでタッチした位置を正しく認識させるために、必ずペン設定画面を表示してキャリブレーションを行ってください。

ペン設定には、次の4つの設定があります。

自動キャリブレーション	自動で電子ペンの位置合わせを行います。手軽に位置合わせを行いたいときに選択します。
手動キャリブレーション	手動で電子ペンの位置合わせを行います。プロジェクターを常設するときや、より高精度な位置合わせを行いたいときに選択します。
リモートペン	電子ペンで画面をタッチしてコンピュータのタッチ操作が行えます。リモートペンとして使用するときには、プロジェクターのUSB-BポートとコンピュータのUSB-Aポートを添付のUSBケーブルで接続してください。  注意 リモートペンを行うには、最新の電子黒板キット用 IWB Setup Software をコンピュータにインストールしてキャリブレーションを行う必要があります。最新の電子黒板キット用 IWB Setup Software は当社のホームページからダウンロードしてください。 URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html
タッチモジュール、調整	別売のタッチモジュールを使用するときを選択します。タッチモジュールの調整画面を表示します。
センサービューワ	カメラの映像を画面全体に表示して、周囲の照明や外光の影響を確認します。キャリブレーションが正常に終わらない、またはペン操作が不安定なときに実行してください。 画面内の白く表示された部分が周囲の照明や外光の影響を受けている可能性があります。その場合は、周囲の照明や外光の影響を取り除いてください。(決定)ボタンを押すと、周囲の照明や外光の影響を検出する画面とカメラで写したそのままの映像を切り替えることができます。

電子ペンのキャリブレーションを行ったら、APPSメニューの「ホワイトボード」などで電子ペンが使用できます。

注意

- むれた手で電子ペン使用したり、直接水のかかる場所で使用しないでください。電子ペンは防滴仕様ではありません。
- 身体の一部がスクリーンに近づいたり接触したりすると、誤動作することがあります。
- スクリーン面内に手をつけて描画や操作をすると、誤動作することがあります。
- 別売のタッチモジュールを使用する際、文字や細かい描画を行う場合は電子ペンを使用してください。
- オンスクリーンメニューを表示中にキャリブレーションを行うと誤動作の原因となる場合があります。オンスクリーンメニューが消えている状態でキャリブレーションを実行してください。

●自動キャリブレーション

1 「自動キャリブレーション」にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。

キャリブレーションが開始されます。

20～25秒ほどで位置合わせが終了し、キャリブレーション完了のメッセージが表示されます。

●手動キャリブレーション

1 ペン設定画面で「手動キャリブレーション」にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。

投写画面が手動調整画面に切り替わり、画面の左上に赤い点が表示されます。

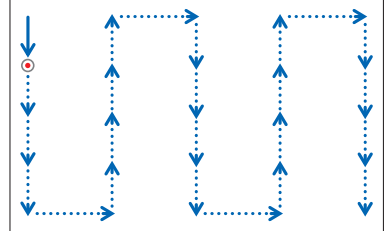
2 画面に表示される手順に従って赤い点の中心を1～2秒間タッチする。

- 赤い点をタッチすると、赤い点が25箇所に順番に表示されます。

3 25箇所すべての点をタッチする。

位置合わせが終了し、キャリブレーション完了のメッセージが表示されます。

- 注意**
- 外光の影響で手動キャリブレーションが実施できない場合があります。



●リモートペン

1 本機とコンピュータを添付のUSBケーブルで接続する。

プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

2 ペン設定画面の「リモートペン」にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。

チェックマークが付きます。

3 リモコンの(USB-B)ボタンを押す。

- またはオンスクリーンメニューの入力端子で「USB-B」を選択します。コンピュータの画面表示に切り替わります。

4 コンピュータで最新の電子黒板キット用 IWB Setup Software を起動してキャリブレーションを行う。

電子ペンを使ってマウス操作が行えるようになります。

- USB-B以外の端子で映像を表示して、電子ペンを使用することもできます。

- 注意**
- リモートペンを有効にすると、コンピュータのマウス操作を電子ペンで行えますが、本機（プロジェクター）のメニューやホワイトボードの操作は電子ペンで行えません。

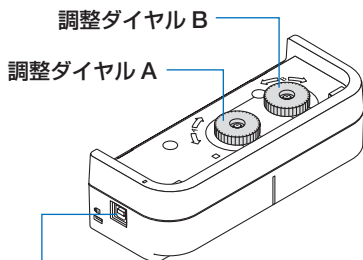
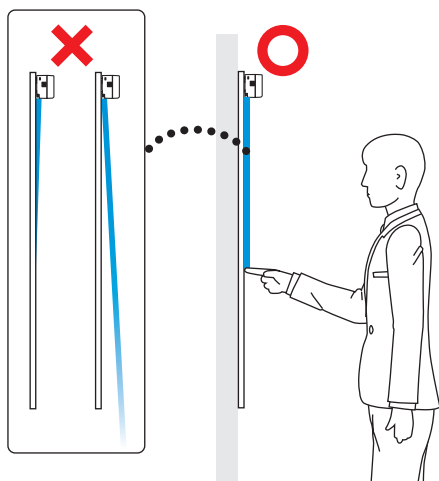
●タッチモジュールの調整を行う（別売のタッチモジュールを使用する場合）

タッチモジュール本体に添付している設置説明書に従って、タッチモジュールをスクリーンの上部に取り付けてください。

続いて、タッチモジュールから放射される赤外光をスクリーン面と平行になるように調整します。タッチモジュールの調整ダイヤルカバーを取り外し、2つの調整ダイヤルを回して調整します。以降の手順に従って調整してください。

注意

- タッチモジュールの調整を行う前に、必ずキャリブレーションを実行してください。
 - 「タッチモジュール」にチェックマークが付いた状態で「手動キャリブレーション」を実行した場合、最初に自動キャリブレーションが行われます。
 - タッチモジュールの調整をしたあとの周囲の温度変化などの影響によって、描画精度が悪くなることがあります。そのため、定期的にタッチモジュールのキャリブレーションを実行することをおすすめします。
- 再度キャリブレーションを実行するとき、手順**3**の調整ダイヤルAおよび手順**4**の調整ダイヤルBの調整をスキップすることができます。手順をスキップする場合は、各調整画面の「続ける」をタッチしてください。
- タッチモジュールから放射された赤外光が指先に当たる前に手の他の部分に当たると、描画している線が途切れる場合があります。



タッチモジュールに添付の USB ケーブルでプロジェクターの USB ポート（タイプ A）と接続してください。


注意

- プロジェクターの無線 LAN ポートには接続しないでください。

1 タッチモジュールの調整ダイヤルカバーを取り外す。

2 ペン設定画面で「タッチモジュール」にフォーカスを合わせ（決定）ボタンを押す。続けて「調整」にフォーカスを合わせ（決定）ボタンを押す。タッチモジュール調整画面が表示されます。

- 3** タッチモジュールの調整ダイヤル A を使って調整する。
 (1) 設置するスクリーンに応じて、「1. 面の平坦度」を選択する。

		タッチの精度
良好	スクリーンの平坦度 3mm 以内のときに選択します。	 良い 悪い
並	スクリーンの平坦度 5mm 以内のときに選択します。	
不良	スクリーンの平坦度 8mm 以内のときに選択します。	

- (2) タッチモジュールから青い●までの距離を選択する。
 設定を変更すると青い●の位置が上下に変わります。スクリーンが小さいときは「遠い」を、スクリーンサイズが大きいときは「近い」を選択してください。
- (3) 調整ダイヤル A を反時計回りに、ダイヤルが止まるまで回す。
- (4) 画面下部の青い●を指でタッチする。
 調整度の数値が表示されます。
 表示されない場合は、青い●をタッチしたまま、数値が表示されるまで調整ダイヤル A を時計回りに回してください。
- (5) 青い●をタッチしたまま、数値が 100% に近づくように調整ダイヤル A を時計回りに回す。
 最適な位置に調整されたら●が緑色に変わります。
- (6) 「続ける」にフォーカスを合わせ(決定)ボタンを押す。
 次のステップに進みます。

4 タッチモジュールの調整ダイヤル B を使って調整する。

- (1) 調整ダイヤル B を反時計回りに、ダイヤルが止まるまで回す。
- (2) 画面の左下に表示される青い●をタッチする。
 調整度の数値が表示されます。
- (3) 青い●をタッチしたまま、数値が 100% に近づくように調整ダイヤル B を時計回りに回す。
 調整が完了すると●が緑色に変わります。
- (4) 「続ける」にフォーカスを合わせ(決定)ボタンを押す。
 次のステップに進みます。

5 タッチ位置の補正を行う。

- (1) 画面に表示された 9 個の●が緑色に変わるまで、すべての●を 1 ~ 2 秒間タッチする。
 キャリブレーション画面に戻り、タッチモジュールの調整が終了します。

注意 ● タッチ操作での描画の精度が悪い場合は、もう一度タッチモジュールの調整をやり直してください。

●センサービューワ

カメラの映像を全画面に表示します。この画面内に白く表示された部分があると周囲の照明や外光が写り込んで、照明や外光がペン操作に悪影響を与えている可能性があります。照明や外光が写り込まないように、照明を消す、近くのカーテンを閉める、プロジェクターの設置場所を移動するなどの対策を行ってください。
 (決定)ボタンを押すと、周囲の照明や外光の影響を検出する画面とカメラで写したそのままの映像を切り替えることができます。
 センサービューワ画面を終了する場合は(戻る)ボタンを押します。

●トラブルシューティング

このようなとき	確認してください
電子ペンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のような所で使用していませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーン面やカメラユニットに直射日光が当たっている場合は、直射日光が当たらない場所に設置しなおしてください。 ・ スクリーン面やカメラユニットにハロゲンランプやフィラメントタイプの電球などの光が当たっている場合は、光が当たらないように向きを変えたり、光をさえぎったりしてください。 ・ スクリーン面やカメラユニットに棚などからの反射光を含む外光があたっている場合は、光が当たらないように向きを変えたり、光をさえぎったりしてください。 ・ 光を反射するような材質の枠があるスクリーンでは使用しないでください。 ● 電子ペンの電池が消耗していませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペン先を押してもインジケータ (LED) が赤く点灯しない場合は充電してください。 ● 電子ペンの使用条件を満たしていますか (スクリーンサイズ、使用温度)。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーンサイズは 100 型以下のものを使用してください。 ・ 電子ペンは 5 ~ 40℃の範囲で使用してください。 ● カメラユニットのレンズ部分が汚れていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れている場合は、毛羽立ちの少ない乾いたやわらかい布でふいてください。 ● 周囲で赤外線リモコンを使用していませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子ペンが正常に動作しない場合があります。
電子ペンの描画と画面にずれがある	<ul style="list-style-type: none"> ● キャリブレーションを行いましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動キャリブレーションを行っても改善されない場合は、手動でキャリブレーションを行ってください。 ・ カメラで映像を取り込んでいますので、カメラとペンの間に指などがあると、描画している線が途切れたり、ずれたりする場合があります。
タッチ操作について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別売のタッチモジュールの設置説明書をご覧ください。
APPS メニュー が誤動作する	<ul style="list-style-type: none"> ● マウス設定のマウスにチェックマークが付いていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ マウスを使用可能な状態で電子ペン操作を行うと、APPS メニューが誤動作することがあります。マウス設定のマウスのチェックマークを外して、本機を再起動してください。

10-2. マウス設定

市販のUSB マウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。このときのマウスの設定です。

項目	説明	備考
マウス	チェックマークを付けると、次回起動時から本機に接続したマウスが使用可能になります。	
ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。	
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。	

注意

- マウスを使用可能な状態で電子ペン操作を行うと、APPS メニューが誤動作することがあります。電子ペンを使用する場合は、マウスのチェックマークを外してください。

10-3. プログラムタイマー

No.	曜日	時刻	機能	詳細設定	有効	繰り返し
1	日	08:00	電源	オン	<input type="checkbox"/>	-
2	日	09:00	入力端子	コンピュータ	<input type="checkbox"/>	-
3	日	17:30	電源	オフ	<input type="checkbox"/>	-
4	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-
5	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-
6	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-
7	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-
8	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-
9	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-
10	--	--	--	--	<input type="checkbox"/>	-

曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時3分にコンピュータの画面に切り替わり、17時30分に電源がスタンバイ状態になります。

重要

- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください (▶ 54 ページ)。
また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。
- プログラムタイマーを使用するときは、「スタンバイモード」を「ネットワークスタンバイ」に設定してください。

●プログラムを新しく設定する

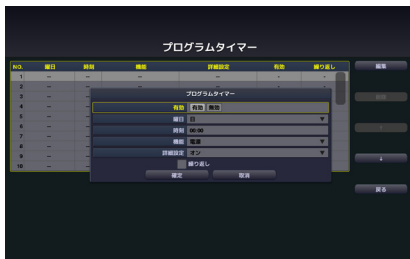
- 1 プログラムタイマーのトップ画面で (▼/▲) ボタンを押して [編集] にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

プログラムリスト画面が表示されます。



- 2 予定が入っていない番号にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。

有効	プログラムの有効／無効を選択します。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン／オフ、「入力端子」を選択すると [詳細設定] で映像信号、「エコ」を選択すると [詳細設定] でエコモードを選べるようになります。 ※ プログラムタイマーの「入力端子」では「USB-B」端子は選択できません。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン／オフ、映像信号の種類、またはエコモードのオフ／オートエコ／エコ1／エコ2を選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

- 4 設定が終わったら [確定] にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。



- 5 「戻る」にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

プログラムタイマーのトップ画面に戻ります。

6 「確定」にフォーカスを合わせ、

(決定) ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。

注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [有効] が無効になります。
- 複数のプログラムが同時刻に重なるときは、プログラム番号の小さいプログラムからリスト順に実行されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [有効] が無効になっているプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手で電源をオフにしてください。

●プログラムタイマーを有効にする

1 プログラムタイマーのトップ画面で [プログラムタイマー] の [有効] にフォーカスを合わせて、(決定) ボタンを押す。

チェックマークが付きます。



注意

- プログラムタイマーの有効設定にチェックマークが付いていないときは、プログラムリストの [有効] の項目が有効でもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの有効設定にチェックマークが付いていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

●プログラムを編集する

1 プログラムリスト画面で編集したい番号にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。




2 編集画面で設定を変更する。

3 設定が終わったら「確定」にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。





これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

●プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻になるとプログラム番号の小さいプログラムからリスト順に実行されます。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にフォーカスを合わせ、
 ボタンを押す。
- 2  ボタンを押して「↑」または「↓」を選択する。
- 3 希望の位置まで移動するまで  ボタンを数回押す。
これでプログラムの順番が変更されます。

●プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にフォーカスを合わせ、
 ボタンを押す。
- 2  ボタンを押して「削除」にフォーカスを合わせ、
 ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 「削除」にフォーカスを合わせ、
 ボタンを押す。
削除されプログラムリスト画面に戻ります。

10-4. 日付と時刻設定

本機に現在の日付と時刻を設定します。

項目	説明	備考
タイムゾーン設定	本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) との時差を設定します。	初期値は「+ 00:00」です。日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定してください。
日付と時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。ネットワーク上の NTP サーバと同期して、正しい時刻を取得するときは「インターネット時刻サーバ」にチェックマークを付けます。そして NTP サーバの IP アドレス、またはホスト名を入力し、(更新) を行いません。	日付の初期値は「01/01/2015」(木)です。時刻の初期値は「00:00」です。
夏時間設定	夏時間を設定します。有効にチェックマークを付けると、夏時間を有効にします。夏時間の開始と終了、および時差の各項目を設定します。	



- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時にスタンバイ状態にしておいてください。
本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。



- 夏時間の移行動作時に日付と時刻設定を再設定すると、正常に夏時間設定が切り替わらない場合があります。再設定が必要なときは、「タイムゾーン」→「日付と時刻設定」→「夏時間設定」の順に設定しなおしてください。

10-5. 管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

項目	説明	備考
メニューモード	ベーシックメニューとアドバンスメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目はプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。	
設定値を保存しない	オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。	工場出荷時は、チェックマークが付いていません。
新規パスワード／ 新規パスワード確認	管理者モードにパスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字

10-6. デフォルト APP

プロジェクターの電源を入れたときに「APPS」端子が選択されていると、デフォルト APP で設定した機能が自動的に起動します。

また、「APPS」端子以外が選択されていると、「APPS」端子に切り替えたときにデフォルト APP で選択した機能が自動的に起動します。

項目	説明	備考
デフォルト APP	リモコンの (APPS) ボタン、または入力端子で「APPS」を選択したときに表示する機能を、APPS メニュー、ビューフ、ホワイトボード、コラボレーションの中から選択します。	工場出荷時は「APPS メニュー」が設定されています。

●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、MultiPresenter は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access®, WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct®, Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Android、Google Play、Chrome は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。